

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	あゆみん相川		
○保護者評価実施期間	R7年1月16日		R7年2月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	R7年2月1日		R7年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内の広さを利用した遊びができる	それぞれが自分の空間を確保しながら落ち着いて遊ぶ事ができるようにしています。 集団活動では体を動かしたプログラムを考え、周りとの距離感を意識しながら動いてもらうようにしています。	集団で身体を動かしながら楽しんで取り組めるプログラムを考案し続けたいと思います。
2	連絡ノートの活用。	取り組みの写真を貼ったり、児童の様子を記載し、保護者も児童自身も後で読み返したくなるような連絡帳作りを心がけています。	記載内容の充実や、今までとは違った視点での児童の様子の記載などをしたいと思います。
3	学童くらぶとの交流	週末や長期休暇期間を利用し、近隣の学童クラブとの交流会を実施し、室内遊びや外遊び、また遠足などを行っています。	学童くらぶとの交流を深めながら、様々な行事を共に計画し、実現していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	防災学習、避難訓練	防災についての知識不足 長期休暇以外の平日に避難訓練をするのは時間の関係で難しく、回数が少なく感じている。	避難訓練以外の防災学習の機会をもちたい。 絵本なども活用しながら、より多くの学習や避難訓練をしたい。
2			
3			